

まちの ニュース

冬の魅力を丸ごと満載・八幡平ゆきまつり

八幡平ゆきまつりは2月16、17の両日に焼走り会場で、2月23、24の両日に温泉郷会場ですれぞれ開催しました。

岩手山焼走り国際交流村の焼走り会場では、バナナボート体験会や風揚げ大会が人気を集めました。17日には岩手山山びこ太鼓が勇壮な太鼓演奏を披露し、訪れた人たちを魅了しました。

八幡平リゾートパノラマス



大勢の観光客でにぎわいを見せる温泉郷会場



焼走り会場ではバナナボート体験会が人気

キー場入り口付近の温泉郷会場では、人気キャラクターショーや雪上ドッグランなど多数のイベントが好評を博しました。

優勝者に人気ゲームソフト「Wii Fit」が贈られる雪上運動会は、ペットボトルの的に雪玉を当てて倒す「雪玉的当て」など4種目を開催。それぞれの種目に親子ペアで挑み、特設の雪上グラウンドで熱戦を繰り広げました。

市内外から家族連れなど多数の観光客が会場を訪れ、盛りだくさんのイベントなどのほか、地場産食材の郷土料理などを楽しみ、冬の八幡平市の魅力を満喫しました。

科学の力でマジックと超能力の種を明かす

東大更小学校(多田敦子校長、児童62人)の創立130周年記念講演会「マジックと子育てを語る夕べ」は2月8日、同校で開催されました。

講演で八木教授は、糸につるした5円玉を手を使わずに動かすなど、マジックや超能力には、科学の力が働いていることを実演しました。また、明るさや我慢強さを伸ばす子育ての大切さ、体験を通じて社会性や判断力が身に付くことを解説。最後に、参加した児童たちを「岩手や世界を動かす人物に育ってください」と激励しました。



↑静電気の力で空中にビニールを浮かべる実験に見入る参加者

←手を使わずに糸につるした5円玉を動かす超能力のような手品の仕組みを解説

市内の交通事故死ゼロを目指して呼び掛け

全国一斉「交通事故死ゼロを目指す日」の2月20日、市内で交通指導隊など関係者60人が啓発活動を行いました。

国保西根病院と平舘クリニックでチラシや反射材などを配布。また、西根、松尾、安代地区それぞれの国道282号沿いで、飲酒運転の根絶や早め点灯などを呼び掛ける街頭啓発を実施しました。

ドライバーや歩行者は、交通安全意識も新たに、気を引き締め直していました。



反射材やチラシを配布して、交通安全を呼び掛けました

元気いっぱい豆まきで悪い鬼を追い払え



元気いっぱいの豆まきで鬼退治をする園児たち

柏台保育所の園児24人は1月29日、松尾デイサービスセンターを訪れ、通所者と交流を深めました。

かわいらしい衣装を着た園児が、お遊戯や歌を元気いっぱい披露。施設の職員が扮する赤鬼と青鬼が現れると、みんなで一斉に豆をまき、見事に退治しました。

園児に「元気で長生きしてください」と励まされ、おじいさんやおばあさんはたくさん元氣と笑顔をもらいました。

荒屋公民館の成人講座「アロマ&ハーブ講習会」は2月21日、同館で開かれました。

盛岡市のアロマ館ソートフル館長・勝負沢知悦此さんを講師に、地域の女性16人がアロマセラピーやハーブの基礎知識を学習。実技では、ラベンダーやレモンなど好きな香りの精油を使い、アロママッサージなどを体験しました。参加者は心身ともにリラックスして、心行くまで香りを楽しみました。

心と体を気持ちよくする香りの秘密を学ぶ



講師の指導を受けながら、アロマトリートメントを体験



贈呈式で笑顔を見せるそよかぜの家の皆さん

第一化学薬品株式会社(4月から積水メディカル株式会社に社名変更)は2月19日、福祉作業所そよかぜの家にロッカーを寄付しました。

これは、同社の社会貢献活動の一環として行われたものです。贈呈式で五十嵐秀雄岩手工場長は「誘致企業として今後も地域に貢献したい」とあいさつしました。

通所者は「楽しい思い出もこのロッカーに入りたい」と笑顔を見せました。

思い出もたくさん入るロッカーありがとう

家族に囲まれてめでたく100歳の誕生日

工藤テルさん(松尾)は2月20日、めでたく100歳の誕生日を迎えました。

工藤さんは明治41年に松尾地区で生まれました。几帳面できれい好き、くよくよしないさっぱりした性格の働き者です。子ども9人を育て、孫と会うことをとても楽しみにしています。

家族は「和食が好きで、常に腹六分目を心掛けていることが長寿の秘訣かな」と話していました。



工藤さん(写真中央)へお祝いの花束を届けました

みんなを守る秘密兵器「こども110番」



児童たちは真剣な面持ちで訓練に取り組みました

岩手銀行平舘支店(晴山登支店)は2月6日、平舘小学校の児童を対象に「こども110番」の訓練を行いました。不審者に扮した同支店の行員に追い掛けられた児童が、ATMコーナーに設置したボタンを押して警備会社と連絡遠隔監視する警備会社から不審者へ警告などを行い、撃退に成功しました。こども110番は、同支店の窓口業務終了後でもATMコーナーが営業していれば利用できます。

浅沢地域振興協議会(佐藤巖会長)は2月3日、協働のまちづくり事業の一環として、二戸市の駒ヶ嶺新山神楽保存会(山本昭四郎会長)と研修交流会を行いました。

古くから往来がある地域との交流を深め、神楽伝承につなげていこうというものです。駒ヶ嶺新山神楽の杵舞と盆舞のビデオを上映。山本会長が神楽の成り立ちや浅沢地域との関係について講演を行い、理解を深めました。

地域ぐるみの協働で神楽の伝承に取り組む



駒ヶ嶺新山神楽のビデオを見て理解を深めました



にぎりたての寿司を味わう通所者の皆さん

マックスバリュ西根店の職員は2月4日、小規模通所授産施設パイの家を訪れ、寿司の実演試食会を開きました。この試食会は、にぎりたての寿司を施設の通所者に味わってもらおうと行われ、今年で5回目です。マグロなどの握り寿司のほか、節分に合わせた恵方巻きも用意。通所者たちは、要望に応じて目の前で寿司職人が手際よくにぎる技に驚きながら、おいしそうに寿司をほお張りしました。

にぎりたてのおいしい寿司に笑顔あふれる

本当に大切なものを見つけるミュージカル

文化庁の本物の舞台芸術鑑賞事業による公演は2月18日、田山小学校(菅原由子校長、児童50人)で行われました。

東京演劇集団風(辻由美子代表)によるミュージカル「星の王子さま」を同校児童のほか、地域住民など約100人

が楽しみました。

主人公の星の王子さまが、たくさんのお出合いを通じて本当に大切なことは目に見えないことに気付くストーリー。菅原校長や児童も出演し、会場を盛り上げました。

迫真の俳優による近に感じ、目を輝かせていました。

↑ステージ上で「僕の旅は続く」を俳優とともに歌う児童

←客席と同じ高さのステージで繰り広げられる迫真の演技に会場は引き込まれました



平成19年度健康づくり推進大会は2月17日、西根地区市民センターで市民約200人が参加して開催されました。

市食生活改善推進連絡協議会の会員女性による安代一座が「人生いろいろ誰もがとおりやんせ」と題した健康劇を披露。都会の息子夫婦と同居することになった母親と息子夫婦の生活を演じ、認知症に対する家族の理解や思いやり、地域社会とのつながりを持つことの重要性を訴えました。



田村正彦市長から虫歯のない田中さん親子へ表彰

▼8020運動達成者 渡辺長一、佐々木喜久治、武田金次郎、加藤兼弘、渡辺義江、工藤ヨシ、仙沢城臣、佐藤友榮、藤川和子、西田春雄、齊藤幸子、土館ア工、米川義雄

▼3歳児虫歯のない母と子 田中昌子、田中杏奈

みんなで心と体の健康づくりをすすめよう



安代一座による健康劇が披露されました